



聖路加国際病院元チャプレン2次加害訴訟

報告集会 & 交流会

難病治療のため聖路加国際病院に通院していた原告が、日本基督教団所属のチャプレンから性加害を受けた事実と聖路加の使用者責任が民事判決で確定しています。

日本スピリチュアルケア学会や宗教世界等の関係者を中心に、「A牧師を守り支える会」が組成され、かつキリスト教メディアやSNS加害者擁護と根拠のない被害者非難が拡散されました。これに対して名誉棄損訴訟を提起し、謝罪広告を求めている裁判の報告と合わせて、勉強会と支援者交流会を行います。手話通訳あり（村上幹夫牧師による）

概要は下記の通りです。QRコードよりお申込みをお願いいたします。

12月5日(木) 20:00～22:00

※Zoomによるオンライン実施

司会者 山口幸夫さん（元社会事業大学準教授）

登壇者 神原元さん（弁護士）

村上幹夫さん（牧師）

山田嘉則さん（医師）

原告



（開催趣旨）

山田嘉則医師は早くからトラウマインフォームドアプローチ(TIA)を提唱し、2017年に自身のクリニックを立ち上げてその実践に努めてこられました。困難なメンタルヘルスの問題の根底にはトラウマがあります。そのトラウマの原因はパワーの不均衡の中でのうまれる対人暴力や人権侵害です。更に広く社会の中で、人が人として尊重されないためにトラウマが深刻になります。このような不正義の解消を目指すことまでを含めてトラウマインフォームドアプローチ(TIA)と呼びます。

今回、TIAの視点から各登壇者が発題をします。参加者の皆様と共に「サバイバー」や「支援者」「牧師」「弁護士」「研究者」等の立場を超えて同時代に生きる人とし、ちえを出し合い、繋がり合うプラットフォーム(safe space)の一助になればと思います。

主催：聖路加国際病院チャプレンによる性暴力サバイバーと共に歩む会



本会について。現在、性暴力被害者が告発しても、不当な被害者非難 (victim blaming) を受ける現状があります。これは、被害者の申告を萎縮させることになる重大な人権侵害です。本件訴訟や啓発活動により、事実を解明し、性暴力の2次加害の構造を明確にし、再発防止策を提案します。トラウマインフォームドアプローチ(TIA)が実現するための中長期的な視座からのシステムのあり方についても触れていきます。性暴力被害者の視点から「真の救済」とは何か? について、皆様と一緒に考えていきたいと願っています。

- 裁判支援活動のため、カンパのお願い 郵便振替 (口座番号:001500129926)
- 本会のお問い合わせ先: church.metoo.withyou2024@gmail.com Tel: 090-3408-4501
- 裁判に関するお問い合わせ先; 武蔵小杉合同法律事務所 神原元弁護士 Tel: 044-451-3541